

令和6年度 学校教育目標 「しなやかで とともに学ぶ子 やりぬく子」

経営方針 「三問を整え、東小オリジナルを創造する」



かがやけ光の子

函南町立東小学校
令和6年11月発行
第7号

【3rd mission】

力を合わせて
楽しもう

函南町立東小学校 松下 八十二

11月に入り、朝晩は寒さを感じる日が多くなってきましたが、日中は11月とは思えない暑い日があったりと、体温調節の難しい日が続いています。そのため富士山は統計を取り始めてから130年で最も遅い初冠雪(今年の初冠雪は11月7日)だそうです。学校ではまだ流行とまでは言えませんが、それでもインフルエンザに罹患する児童が出始めています。体調管理には十分気をつけていきたいと思えます。保護者や地域の皆様も、体調管理には十分注意しお過ごしください。

＜修学旅行＞

10月24日(木)・25日(金)で、6年生は『学習、学修、楽習～東京で最高の思い出を～』のスローガンの下、東京方面へ1泊2日の修学旅行へ行ってきました。

子どもたちは「楽しいことや疲れたこと全部が大切な宝物になった。すてきな宝物ができてよかった。」と、2日間仲間と共に楽しむことができたようです。また、「国会議事堂の見学では、社会の授業で勉強したことを確かめながら見学をすることができた。」と、授業で学習したことを確かめながら見学ができ、楽しむだけでなくしっかりと学習もできたようです。

「東京に着いた瞬間びっくりした。ビルやレインボーブリッジ、すべてが大きかった。」と、函南との違いに戸惑っていた子もいました。東京の街並みに圧倒されるだけではなく、東京と函南を比べて東京にはない函南の良さに気づいた子もいました。函南の良さに気づいた子が、将来の函南を担う人材へと育ってくれることを期待したいと思います。

また、今回の修学旅行から体験は大事と感じた場面がありました。「地下鉄の移動が難しかった。」と感想を書いた子がいました。今は車で出かけることが多く切符を買って電車に乗る体験が少なくなったためか、上野から浅草の移動で銀座線に乗るための切符の買い方が分からず券売機の前が大混雑したそうです。6月の韮山史跡巡りでは学年100名以上いるので一人一人に切符を買わせることができなかつたように、学校では十分な体験をさせてあげることができません。体験が子どもたちを成長させてくれることもたくさんありますので、ご家庭でもお子さんにいろいろな体験(電車に乗るだけではなく、キャンプ、山や川へ行くなど)をさせてあげてください。



＜持久走記録会＞

11月に入り学校では、12月に行われる持久走記録会(昨年までのジョギングデイから内容を変更しました)に向けて、子どもたちが朝からグラウンドを走る姿が見られるようになり、朝から「今日は〇周走ったよ。」という子どもの声が聞かれるようになってきました。持久走記録会の目的は、「自分の目標に向けて努力することを通して、自身の記録の伸びを実感し、走ることを楽しむ。」です。走るのが得意な子は、自分の持てる力を発揮し、自分の記録が伸びる喜びを楽しんでほしいと思えます。走るのが苦手な子は、まずは時間内自分のペースで走りきることから始め、達成できた喜びを味わってほしいと思えます。小さな目標であっても、達成することで自信になります。大谷選手も小さな目標(大谷翔平の曼荼羅チャートで調べてみてください)の積み重ねがあって今の活躍があります。いきなり大きな所を目指さなくても、まずは自分が達成できそうな小さな目標から始め、チャレンジする気持ちを育てていきたいと思っています。苦しいことや辛いことから逃げるのではなく、自分で解決していく力を身につけるためのチャンスだと捉え、ご家庭でも応援をしてあげてください。

